

令和7年度公立特別支援学校中学部における英語教育実施状況調査

※調査基準日は、指定がない場合、令和8年2月1日現在としてお答えください。

※本調査は、公立特別支援学校中学部のうち、外国語科について中学校の目標及び内容に準ずる教育課程を編成している学校のみを対象とします（下学部・下学年の目標及び内容を中心とした教育課程を編成している学級や、知的障害の特別支援学校の各教科の内容を中心とした教育課程を編成している学級は対象としません）。

※分校がある場合は、本校と分校をまとめて1校とします。

※複数の障害種部門を設置している場合は、各部門をまとめて1校とします。

※本調査は任意調査です。

1. 回答学校数

（単位：校）

回答学校数
210

2. 生徒の英語力に関すること

2-(1) 以下に該当する生徒数を記入してください。なお、特別支援学校中学部第3学年のうち、外国語科について中学校の目標及び内容に準ずる教育課程で学んでいる生徒のみを対象（ただし、下学部・下学年の目標及び内容で学んでいる生徒は対象外。）とします。

※「英語能力に関する外部試験」の結果がCEFR A1～C2レベル相当に当たるか否かについては、各試験団体のウェブサイトなどを参考にして判断してください。

※「CEFR A1レベル相当以上の英語力を有すると思われる生徒数」とは、実際に外部検定試験の級、スコア等は取得していないが、それに相当する英語力を有していると英語担当教師が判断する生徒の人数を指します。

【判断方法の例】

- ・2技能又は3技能を測る試験におけるスコア
- ・公式な記録としては認定されない試験のスコア（例：英検IBAなど）
- ・CAN-DOリストに基づく自校でのパフォーマンステストの結果
- ・MEXCBT（文部科学省CBTシステム）に搭載しているCBT問題の解答状況
（参考：https://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1387503_00010.htm）
- ・AIツール等による英語力の判定結果

等

※以下の（ケ）の回答にあたっては、生徒の障害の状態等に応じて、代替的な手段により英語力を測った場合も含めて、総合的に判断してください。

※（ウ）～（ケ）はいずれも重複しませんので、ご注意ください。

（単位：人）

	人数
第3学年に所属している生徒数（ア）	425
（ア）のうち、英語能力に関する外部試験を受験したことがある生徒数（イ）	100
（イ）のうち、CEFR A1レベル相当を取得している生徒数（ウ）	33
（イ）のうち、CEFR A2レベル相当を取得している生徒数（エ）	9
（イ）のうち、CEFR B1レベル相当を取得している生徒数（オ）	3
（イ）のうち、CEFR B2レベル相当を取得している生徒数（カ）	0
（イ）のうち、CEFR C1レベル相当を取得している生徒数（キ）	0
（イ）のうち、CEFR C2レベル相当を取得している生徒数（ク）	0
（ア）のうち、CEFR A1レベル相当以上の英語力を有すると思われる生徒数 [（ウ）～（ク）以外] （ケ）	35
【（ウ）～（ク）の合計】 CEFR A1レベル相当以上を取得している生徒数	45
【（ウ）～（ケ）の合計】 CEFR A1レベル相当以上を取得している、あるいはA1レベル相当以上の英語力を有すると思われる生徒数	80

※（ウ）～（ケ）の関係については、以下図表を参照。

	CEFR A1レベル相当	CEFR A2レベル相当	CEFR B1レベル相当	CEFR B2レベル相当	CEFR C1レベル相当	CEFR C2レベル相当
相当する外部検定試験の級・スコア等を取得	CEFR A1レベル相当を取得している生徒数（ウ）	CEFR A2レベル相当を取得している生徒数（エ）	CEFR B1レベル相当を取得している生徒数（オ）	CEFR B2レベル相当を取得している生徒数（カ）	CEFR C1レベル相当を取得している生徒数（キ）	CEFR C2レベル相当を取得している生徒数（ク）
相当する英語力を有していると英語担当教師が判断	CEFR A1レベル相当以上の英語力を有すると思われる生徒数（ケ）					

2-(2) 上記（ケ）について、A1レベル相当以上を有するかどうかを判断する際に活用した根拠として、当てはまるものを選択して回答してください。（複数選択可）

※上記（ケ）について、0人と判断した場合であっても、その根拠として当てはまるものがあれば選択してください。

（単位：校）

	回答
2技能又は3技能を測る試験におけるスコア	36
公式な記録としては認定されない試験のスコア（例：英検IBAなど）	11
CAN-DOリストに基づく自校でのパフォーマンステストの結果	15
MEXCBTに搭載しているCBT問題の解答状況	3
AIツール等による英語力の判定結果	1
その他	37

3. 英語担当教師の英語力に関すること

3-(1) 調査基準日時点において特別支援学校中学部の英語担当教師数、及び当該英語担当教師のうち、英語能力に関する外部試験を受験してCEFR B2～C2レベル相当を取得している教師数を回答してください。

※「英語担当教師」とは、調査基準日時点において特別支援学校に所属し、外国語（英語）の免許状（免許状の種類は問わない）を所有し、かつ中学部において、中学校の目標及び内容に準ずる英語の授業を担当している者です（ただし、臨時的任用の者及び非常勤講師を除く）。なお、管理職や再任用教員であっても、上記に当てはまる場合は対象になります。

※「英語能力に関する外部試験」の結果がCEFR B2～C2レベル相当に当たるか否かについては、各試験団体のウェブサイトなどを参考にして判断してください。

※（ウ）は（イ）に含まれません。（エ）は（イ）及び（ウ）に含まれません。ご注意ください。

（単位：人）

	英語担当教師数 （ア）	（ア）のうち、 CEFR B2レベル相 当を取得している 教師数（イ）	（ア）のうち、 CEFR C1レベル相 当を取得している 教師数（ウ）	（ア）のうち、 CEFR C2レベル相 当を取得している 教師数（エ）	（イ）+（ウ）+ （エ） CEFR B2レベル相 当以上を取得し ている教師数
人数	286	109	7	5	121

4. デジタル学習基盤の活用状況（令和7年度）

4-(1) 英語の授業における以下に示すICT機器の活用状況（AIを活用したものを除く）について、当てはまるものを選択して回答してください。

※中学校の目標及び内容に準じて実施している英語の授業における活用状況について回答してください。

（単位：校）

	週3回以上	週1回程度	半月に1回程度	月1回程度	月1回未満	全く行わせていない
学習者用デジタル教科書の活用	108	24	5	4	10	59
発話や発音などの録音・録画 ※ AIを活用した練習等のための録音・ 録画を除きます。	7	9	8	14	39	133
人との文字でのやり取り（電子メー ルやSNS、チャット等） ※英語で 入力している場合を指します。	8	6	3	8	29	156
オンライン会話（遠隔地の生徒や 教師、ALT等と英語で話す交流 等）	1	6	2	8	27	166